

(熊谷市) 記者クラブ情報

事業の名称等 政策提言（マニフェスト）の取組状況について

1. 実施日時等 平成 23 年 12 月 1 日（木）
(市報及び市ホームページに掲載)

2. 会場・主催地 熊谷市宮町二丁目47番地1

3. 主催者・関係者

(1) 団体名等 熊谷市

(2) 代表者名 熊谷市長 富岡 清 T E L 048-524-1111

4. 事業内容

6つの政策分野と58の施策からなる市長の政策提言（マニフェスト）の2年目の取組状況を
取りまとめましたので、公表いたします。

5. 目的・理由

政策提言（マニフェスト）に掲げた各施策の1年ごとの進捗率や実績・取組状況について総
括・評価をすることで、現状を把握し、3年目以降の取組に効果的かつ効率的に反映させてい
くことを目的としています。

6. 経緯・経過

市長選挙時に掲げた政策提言（マニフェスト）について、平成21年11月6日の市長就任（新
市としては2期目）から2年が経過しましたので、昨年同様にこの1年間の取組結果を公表する
ものです。

7. 影響・効果

今回の結果をしっかりと分析し、目標を達成できるよう課題解決に全力を挙げ、各施策の
着実な実施に努めていきます。

8. この事業の実施による特記事項

(1) 県内の状況

県内では、上尾市、行田市、秩父市などが実施をしています。

※ 資料の有無 (有)

担当課 熊谷市 市長公室 政策調査課

担当者 津留

連絡先 T E L 048-524-1111 (内線369)

政策提言(マニフェスト)の取組状況について

進捗率 74%、自己評価 70 点
～ 昨年比 11%、12 点アップ ～

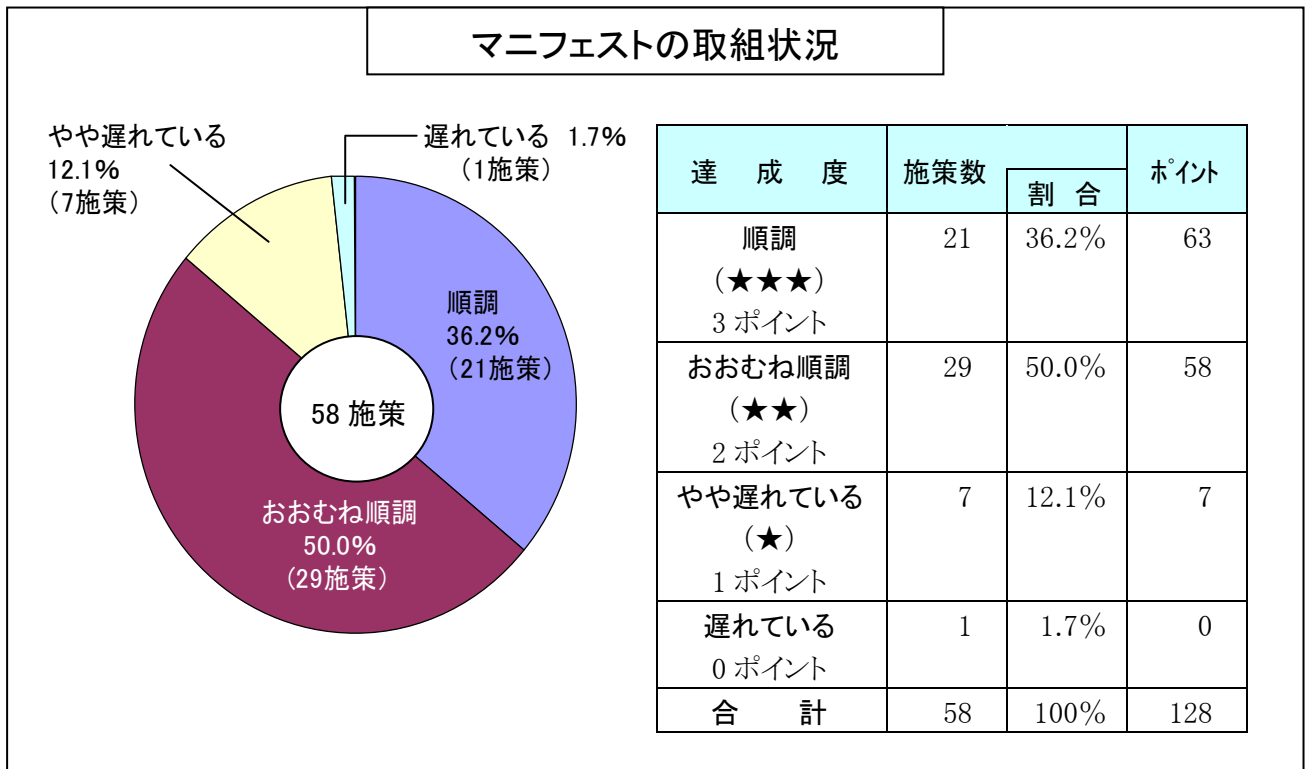
1 概要

58 施策にわたる政策提言(マニフェスト)の達成度を、実績・取組状況に基づき、

- ・ 順調 (★★★=3 ポイント)
- ・ おおむね順調 (★★=2 ポイント)
- ・ やや遅れている (★=1 ポイント)
- ・ 遅れている (0 ポイント)

の 4 段階で評価しました。

これら 58 施策のうち、21 施策が「順調」で 63 ポイント、29 施策が「おおむね順調」で 58 ポイント、7 施策が「やや遅れている」で 7 ポイント、「遅れている」は 1 施策となりました。これにより、2 年目の達成度は 128 ポイント(全施策が「順調」の評価で 174 ポイントとなります。)、進捗率は 74%となります。この結果を踏まえ、自己評価を 70 点としました。



2 年目の主な成果

① 市民が元気で健康なまちをつくります

日本陸上競技選手権大会が熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で開催され、市内の小学生 4 千人をバスで招待しました。

また、市立女子高校の跡地と既存施設の有効活用について総合的な検討を行い、スポーツと文化に親しめる「(仮称)スポーツ・文化村」の利用構想を策定しました。耐震診断を含む基本設計業務を委託し、調査設計作業を進めています。

② 子どもたちが輝き、夢と希望がもてるまちにします

子育て中の親子の交流や育児相談、育児情報の収集等ができる地域子育て支援拠点として市内 17 か所目となる「ベアリス」を立正大学内に新設しました。

また、秦小学校区に公立で 33 か所目となる児童クラブを新設しました。

③ 活気とにぎわいのあるまちをつくります

市内に事業所を新設または増設する企業に対する奨励金の交付要件を大幅に緩和するとともに、企業が市民の雇用を促進するための奨励金制度を充実させました。あわせて、環境に配慮した設備（太陽光発電など）を設置した場合の奨励金のメニューも新設しました。

また、市内の文化財やその保護事業を紹介するインターネット上の博物館「熊谷デジタルミュージアム」を開設しました。

④ 安全と安らぎのあるまちをつくります

大規模災害発生時には、被害が消防など公共機関の対応能力を超えるおそれがあります。特に災害発生直後には自主防災組織の役割が非常に重要になるため、その組織率の向上と活動の支援を図っています。10月1日現在の組織率は51.4%です。

また、家庭用太陽光発電設備と高効率給湯器の設置のため、予算を 3,000 万円に増額して補助を行いました。

⑤ 便利で機能的なまちをつくります

老朽化した南運動場(野球場)を解体・芝生化し、子どもから高齢者まで幅広い年齢の市民が利用できる「伊勢町ふれあい公園」をオープンしました。災害時の一時避難場所にも指定しています。

また、市内循環バスの路線を増やし、江南行政センターを起点に熊谷駅南口と籠原駅南口を交互に連絡する「ほたる号」と熊谷駅周辺の市街地を巡回する「直実号」の運行を開始しました。

⑥ 効率的な行財政経営を進めます

職員総数の抑制により、平成 22 年度の減員数は 21 人で、前年度と比較しての効果額は約 1 億 6,800 万円となりました。

また、平成 22 年度末の市債の残高は約 695 億円でした。借入額の抑制と繰上償還により、前年度と比較して約 37 億円の削減となっています。

3 各政策提言(マニフェスト)の取組実績

- 凡例：「継続」 前任期から継続して取り組む施策
「充実」 前任期の施策を充実させて取り組む施策
「新規」 新規に取り組む施策
「★★★」 順調
「★★」 おおむね順調
「★」 やや遅れている
「－」 遅れている

① 市民が元気で健康なまちをつくります

区分	政策提言	取組実績	一年目の評価	二年目の評価
充実	観るスポーツを誘致し、参加し、楽しむスポーツを振興します	平成23年6月に開催された日本陸上競技選手権大会では、バスで招待した市内の小学生4千人を始め、多くの市民の皆さんに国内トップレベルのスポーツを観戦する機会を提供することができました。 また、国や県が主催するスポーツイベントへも積極的に協力し、市民の皆さんが参加し、楽しむスポーツの振興を図りました。	★★	★★★
充実	不妊治療費の助成を拡大します	上限額10万円を通算5年間助成しています(平成22年4月1日以後の治療分から適用)。平成22年度は90件、計807万2,276円の助成を行いました。	★★★	★★★
充実	ふれあいいきいきサロンなど、高齢者等が楽しく過ごせる場を増やします	地域の高齢者や障害者等の交流の場として、市のふれあいいきいきサロン(ダモンネみはらし)を平成21年度から開設しています。地域住民の皆さんが協力してコンサートやパソコン・ヨガ等の教室やフリーマーケット等、独自のイベントを実施しました。 また、社会福祉協議会のふれあいいきいきサロンは、地域で生活している高齢者と市民(ボランティア)の皆さんが気軽に集まって親睦を深めることを目的に開催しました。	★★	★★★
新規	校区連絡会の地域計画づくりを支援し、住みよい地域づくりを進めます	モデル校区として「星宮小学校区」と「桜木小学校区」を選定しました。 星宮小学校区では、校区連絡会の総会で地域計画づくりの趣旨・進め方等を説明しました。その後、収集した各種データ等に基づき、計画づくりの検討をいただいています。 桜木小学校区では、平成23年10月25日に第1回地域計画策定委員会が開催され、計画の策定に着手していただきました。	★★	★★
新規	高度救急医療を視野に入れた地域医療体制を充実させます	小児救急医療支援事業により、熊谷・深谷・児玉地区が連携し、行田総合病院と深谷赤十字病院において輪番で休日と夜間の小児診療体制を整えています。 また、平成23年度からは県小児医療センターから深谷赤十字病院へ非常勤医師等を派遣する事業費用の一部を熊谷市を含む県北8市町が負担することにより、小児救急医療の充実を図っています。	★	★
新規	市立女子高校跡地を生涯学習、教育、スポーツの場にします	市立女子高校の跡地と既存施設の有効活用について総合的な検討を行い、平成23年4月に、幅広い世代の市民が生涯にわたってスポーツ・文化に親しむことのできる「(仮称)スポーツ・文化村」の利用構想を策定しました。その後、耐震診断を含む基本設計業務を委託し、調査設計作業を進めています。	★	★★
新規	熊谷東小学校区内に公民館を新たに建設します	平成22年度に実施設計を行いました。平成24年度中の竣工を目途に工事を進めます。	★★	★★

② 子どもたちが輝き、夢と希望がもてるまちにします

区分	政策提言	取組実績	一年目の評価	二年目の評価
継続	中学校卒業までの子どもの医療費の無料化を継続して実施します	中学校卒業までのこども医療費の窓口無料化を継続して実施しています。	★★★★	★★★★
充実	小・中学校の屋内運動場を順次、改築します	熊谷東小学校、中条中学校、吉岡中学校の屋内運動場改築工事を実施しています。 また、平成23年度は三尻小学校、籠原小学校、熊谷南小学校の屋内運動場の改築に向け、設計業務等を委託しました。	★★	★★
充実	学力向上補助員と学校教育支援者を増員します	市内全校に学力向上補助員を配置し、個に応じたきめ細やかな指導を実施し、県の学力調査の結果等でも効果が上がっています。 また、地域の学校教育支援者の協力を得て、多様な教育活動や体験的な活動の充実を図っています。この活動を各クラスごとに年間で小学校は2回、中学校と特別支援学級(小・中)は1回実施しています。	★★	★★
充実	外国人英語指導助手を市内全小・中学校に配置します	小学校では、5・6年生すべてに年間35時間以上の外国語活動を担任との協同授業で実施しています。 中学校では、英語教員と協同で授業を実施し、英語教育、国際理解教育等を推進しています。	★★	★★
充実	0歳児保育を実施する保育所を増やします	施設の改修を行い、平成23年4月からは大里第一保育所と江南保育所でも0歳児(8週から)の保育を行っています。 平成23年11月1日現在での0歳児入所児童数は、大里第一保育所7人、江南保育所7人、公立全体で63人です。	★★	★★★★
充実	児童クラブを増やします	平成23年9月1日に公立では33か所目となる「秦児童クラブ」を開設しました。 場所: 秦小学校教室棟校舎1階 施設: 保育室、事務室	★★	★★
充実	子育て広場を増やします	平成22年11月に埼玉県子育て応援タウンの認定を受けました。 また、平成23年4月に地域子育て支援拠点「ベアリス」を立正大学内に開設し、市内の子育て支援拠点は17か所となりました。おおむね中学校区に1か所の地域子育て支援拠点ができたこととなります。	★★	★★★★
新規	母子家庭に支給されている児童扶養手当を、他市にさきがけ、父子家庭にも支給します	児童扶養手当法の一部改正により、平成22年8月1日から父子家庭も支給対象となりました。その費用の3分の1を市が負担しています。 平成23年11月1日現在での受給世帯は70世帯です。	★★★★	★★★★
新規	学校給食施設の整備を進めます	老朽化した調理設備の計画的更新を進め、単独式調理場に4機種 of 備品を整備しました。 平成23年度は3機種 of 備品を整備する予定です。	★	★

③ 活気とにぎわいのあるまちをつくります

区分	政策提言	取組実績	一年目の評価	二年目の評価
継続	自転車道整備やバリアフリー化を進め、回遊性の向上を図り、中心市街地のにぎわいをつくります	昨年に引き続き、中心市街地を歩いて楽しめる「宝探しイベント」を民間団体と協同して実施しました。また、中心市街地の空き店舗を利用して野菜販売事業を行う鎌倉町商店街協同組合を支援しました。	★★	★★
継続	補助を伴う融資により、中小企業経営を支援します	市制度融資を利用して借入金を完済した事業者に信用保証料(計59万9,513円)を補助しました。また、返済中の事業者には金融機関への支払利子(計2,627万8,100円)を補助し、中小企業者を資金面から支援しました。 さらに、東日本大震災の影響で厳しい経営環境にある中小企業者を支援するため、平成23年5月9日から6月10日まで一般事業資金融資を拡充したところ、150件の申込みがありました。申込者に対して現地調査を実施し、金融機関に融資の依頼を行いました。	★★	★★
継続	農地・水・環境保全向上対策事業の取り組みを支援します	35の活動組織へ、円滑な活動が遂行できるように指導と助言を行いました。	★★★★	★★★★
継続	「熊谷フィルムコミッション」により映画撮影等の支援を行い、市のPRに努めます	映画やテレビドラマ、CMなどの撮影依頼に対し、市内ロケーションの紹介や調整等を行っています。	★	★
継続	熊谷中央地区のほ場整備を推進します	埼玉県が行う基礎調査等には場整備事業負担金1億500万円を支出し、事業の進捗を図りました。	★★	★★
継続	市民の食の安心・安全を図るため、地産地消運動を進めます	熊谷産農産物ののぼり旗を作成し、スーパーやJA直売所等に提供し、地産地消の機運を高めています。	★★	★★
充実	熊谷ブランド化を図り、地域物産情報の発信を進めます	熊谷市内と近隣市に「雪くま」の折込チラシを配布するなどのPR活動を実施しました。 また、熊谷市産業祭や「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」を始めとした県内外のイベントに出展し、熊谷の観光と地域物産の情報を発信しています。	★★	★★
充実	商店街の街路灯を省エネ電球(LED)に交換する支援をします	商店街街路灯省エネ改修補助事業に引き続き取り組み、平成22年12月に街路灯135基をLED照明に改修しました。	★★	★★★★
充実	祭りなど各種伝統行事の運営を支援し、観光客誘致に努めます	各種広告媒体の活用やイベントへの出展により、熊谷市の観光と地域物産の情報を発信し、観光客の誘致に努めています。	★★	★★
充実	既存企業の支援を強化するとともに、地球環境等に配慮した企業の立地を進めます	平成23年4月1日に「熊谷市企業の立地及び拡大の支援に関する条例」を施行し、市内に事業所を新設・増設する企業への奨励金の交付要件を大幅に緩和しました。また、この条例では、企業が市民の雇用を促進するための奨励金制度を充実させたほか、太陽光発電など環境に配慮した設備に対する奨励金のメニューも新設しました。	★★	★★★★
新規	妻沼聖天山を中心にしたエリアを観光拠点として整備します	坂田医院旧診療所跡地に観光トイレと照明灯、観光案内板、駐車場案内板を設置しました。	★★	★★

区分	政策提言	取組実績	一年目の評価	二年目の評価
新規	携帯電話を利用して、いつでも街角の情報、観光案内が受けられるシステムを導入します	「観光ガイドシステム」では、市内に点在する彫刻や文化資源などの案内板と案内マップに携帯電話読取用QRコードを掲載し、携帯電話を利用した文字や音声による案内を行っています。 この「観光ガイドシステム」をより充実させるために、市内でワーキングチームを立上げ、ガイド拠点の選定とガイド内容の検討を行いました。	★	★★
新規	歴史的、文化的資産をデジタル化した「熊谷デジタルミュージアム」を開設します	市内の文化財やその保護情報等を紹介するインターネット上の博物館「熊谷デジタルミュージアム」を平成23年9月30日に開設しました。	★	★★★★
新規	豊かな里山など地域の魅力的資源を活用した交流事業「熊谷型グリーン・ツーリズム」を進めます	市内観光名所の見学や農業体験等(特産品の収穫とその調理等)を行う「グリーンツーリズムイン妻沼」と「グリーンツーリズムイン江南」を計4回実施し、参加者に熊谷の魅力をPRしました。 また、旅行会社JTBが「埼玉体験旅くらぶ」で2回実施した熊谷市内を巡る体験型旅行の企画等に協力しました。	★★	★★
新規	テクノグリーンセンター用地に、県と共同で賑わい施設をつくります	平成22年度に引き続き、平成23年度も共同事業者である埼玉県と施設整備の方向性を示せるよう協議を行っています。 また、新たに県と市の担当部署で旧テクノ用地活用検討委員会を立ち上げ、事業を進めるための調整を行っています。	★	★

④ 安全と安らぎのあるまちをつくります

区分	政策提言	取組実績	一年目の評価	二年目の評価
充実	「あつさ はればれ熊谷流」事業を充実し、先進的な環境プロジェクトを進めます	平成23年度は新たに業務用新エネ・省エネ機器の普及推進事業を実施しています。 このほかに次の取組を行いました。 ・小・中学校の「みどりのカーテン」整備事業の充実 ・市民、事業者に対して「みどりのカーテン補助金」の交付 ・市内のクリーンエネルギー賦存量・使用可能量調査 ・中小企業に対する省エネ改修への助成 ・電気自動車用の充電設備設置への助成 ・商店街街路灯、公民館照明灯のLED化	★★	★★
充実	自主防災組織の組織率を引き上げます	自主防災組織の組織率を引き上げるため、次の取組を行いました。 ・自治会連合会へ結成の依頼 ・結成前説明会の実施 ・自主防災組織リーダー研修会の実施 ・市報へ啓発記事の掲載(平成23年1、4、8月号) ・市政宅配講座等で自主防災組織の重要性を説明 なお、平成23年10月1日現在の組織率は51.4%であり、総合振興計画の「めざそう値 5年後」の目標である50%を超えました。	★★	★★★★
充実	こどもエコクラブを各小小学校区に設置し、「環境について自ら考え、自ら行動できる子」を育てます	自然保護に力を入れている学校に、個別に加入を依頼した結果、4団体がこどもエコクラブに登録されました。	★	★
充実	家庭用太陽光発電設備の設置費用を助成します	家庭用太陽光発電システムを設置した市民等に予算の範囲内で補助金を交付しました。 ・補助額:2万5,000円/KW(上限10万円) ・平成22年度予算:1,500万円 ・平成23年度予算:2,100万円	★★	★★★★
充実	犯罪抑止に効果の高い青色防犯灯への交換費用を助成します	平成22年10月1日から平成23年9月30日までの間に自治会が新設・灯具交換した防犯灯447灯のうち、151灯が青色防犯灯であり、計179万9,531円の補助金を交付しました。	★★	★★★★
新規	合併処理浄化槽の維持管理費用を助成します	合併処理浄化槽を適正に維持管理している市民に2,037件、計3,303万6,000円の補助金を交付しました。	★★	★★★★
新規	低公害自動車の軽自動車税に対して助成します	低公害軽自動車を取得した市民等に奨励金(軽自動車税相当額)を支給する制度の導入について市報でPRを行いました。 平成24年6月を目処に申請の受付と奨励金の交付を行う予定となっています。	★★	★★
新規	企業の環境関係設備に対する課税上の支援をします	環境関係設備の導入を支援するため、平成23年4月から、業務用太陽光発電システムや業務用高効率給湯器を設置した企業に補助金を交付する制度を設け、12件、計197万円の補助を行いました。	★★	★★★★

区分	政策提言	取組実績	一年目の評価	二年目の評価
新規	市街地の公園を市民の憩いの場として再生します	社会資本整備計画「誰もが安全で安心して利用できる公園づくり」を平成23年度から25年度までの3年間を実施期間として推進しています。 また、公園の長寿命化計画は平成24年度に策定する予定となっています。	★★	★★
新規	市民による公園の芝生化を進めます	公園サポーター制度に加入している地域の団体に芝生化に取り組んでもらえるようPRを行っています。 また、平成23年度は新たに熊谷式運動場等芝生化事業として、市内のNPOにより熊谷さくら運動公園多目的広場の芝生化に取り組んでいただいています。	★★	★★
新規	中央消防署を移転して整備し、消防力を強化します	平成22年度に実施設計を行いました。平成24年度中の竣工を目途に工事を進めます。	★★	★★

⑤ 便利で機能的なまちをつくります

区分	政策提言	取組実績	一年目の評価	二年目の評価
継続	橋梁の調査点検、維持管理を行い、長寿命化を図ります	平成22年度は42の橋梁について点検を実施しました。平成23年度は65の橋梁の点検を実施します。	★★	★★
継続	交通安全上、狭くて通行しにくい籠原駅東側などの踏切道の拡幅改良を進めます	平成24年度に久保島踏切の拡幅整備を行うため、JR東日本・秩父鉄道と協議を行い、詳細な設計に入るための現地立会を実施しました。 また、踏切拡幅整備の条件である市道40435号線歩道整備事業を進めるために用地買収を実施し、道路拡幅工事に着手しました。	★★	★★
継続	南運動場を多目的広場として再生します	老朽化した南運動場(野球場)を解体・芝生化し、子どもから高齢者まで幅広い年齢の市民が利用できる「伊勢町ふれあい公園」を平成23年4月にオープンしました。 日常管理については、地元自治会と「公園サポーター制度」の協定を締結しています。	★★	★★★★
充実	市内循環バスは、75歳以上の運転免許証返納者の料金無料化を図るとともに、路線数を増やします	免許証を返納した70歳以上の方には、申請により無料で乗車できるパスを交付しています。平成23年10月末現在の申請者数は170人です。 また、平成23年10月1日から、新たに2路線の運行を開始しました。路線の名称とイラストは公募し、審査委員会を開催して決定しました。「ほたる号」は江南行政センターを起点に熊谷駅南口と籠原駅南口を交互に連絡し、「直実号」は熊谷駅周辺の市街地を巡回しています。	★★	★★★★
新規	街路樹による緑陰形成や路面温度を低下させる舗装等、地球温暖化防止の道路空間整備を進めます	「熊谷市道路空間整備推進委員会」で中心市街地における道路空間整備の方向性について検証を進めています。国道17号は短期・中長期の2段階で整備をする方針としました。 また、国道17号周辺の市道と県道のうち、優先的に整備が必要な路線を選定するため、アンケート調査を実施しました。	★★	★★
新規	熊谷駅南北駅前交通広場の整備を進めます	熊谷警察署と整備計画についての協議を実施するとともに、庁内の関係各課で協議を進めています。	★★	★★
新規	籠原駅北口周辺の電線地中化を進めます	籠原駅北口周辺は区画整理を進めており、電線地中化を計画している籠原駅北口線と駅前広場の予定地内となっている家屋10棟を移転しました。	★★	★★
新規	(仮称)熊谷西環状線の整備を進めます	平成21年度に埼玉県が事業に着手し、平成22年度は現況測量と道路詳細設計などを実施しました。 平成23年度は用地測量を実施する予定です。	★★	★
新規	(仮称)南部東西幹線の整備を進めます	今後、県と連携を取りながら事業化を進めていきます。	—	—
新規	(仮称)妻沼東西幹線の整備を進めます	現在、県道太田熊谷線から東武熊谷線跡地までの区間の用地交渉を優先的に進めています。平成23年6月には弥下自治会との自治会用地の買収契約が完了しました。	★	★
新規	東武熊谷線跡地の道路の整備を進めます	第2北大通線(第1期整備区間)の事業効果を上げるため、第2北大通線の整備済箇所から大幡中学校北側の市道につながるまでの区間の整備を進めています。この区間は平成24年度中の供用開始を予定しています。	★★	★★

⑥ 効率的な行財政経営を進めます

区分	政策提言	取組実績	一年目の評価	二年目の評価
継続	市職員の数を減らし、人件費を大幅に削減します	62人の退職に対し、新規採用を41人に抑制しました。平成21年度と比較しての効果額は約1億6,800万円となっています。	★★	★★★★
継続	弾力的な財政運営を図るため、引き続き、市債を減額します	借入額を元利償還額以内に抑えることで市債の残高を減らしました。 また、普通会計では公的資金の繰上償還を行うことで高金利の市債を減らしました。 ・平成21年度末の市債残高:732億1,239万965円 ・平成22年度末の市債残高:695億3,381万6,914円 ・削減額:36億7,857万4,051円	★★	★★★★
継続	指定管理者制度等の導入を拡大し、利用者の利便の向上を図ります	「行政改革大綱・後期実施計画書」に基づき、指定管理者制度の活用も含め、公の施設のあり方を検証しました。その結果、平成24年4月1日から、新たに7施設(大里体育館、江南体育館、籠原体育館、大里総合グラウンド、江南総合グラウンド、大里生涯学習センター、江南総合文化会館)で指定管理者制度を導入する予定です。現在、その手続を進めています。	★★	★★
充実	新ハートフル・ミーティングを実施します	小学校区を対象にしたハートフル・ミーティング(7巡目)を18回開催し、計670人の皆さんと市長との意見交換の場を設けました。 また、小島中学校と妻沼東中学校、大原中学校でも市長とのミーティングを開催し、226人の生徒の皆さんに参加していただきました。	★★	★★
新規	特定行政庁へ移行し、建築確認等の利便性を高めます	平成22年4月に特定行政庁へ移行し、全ての建築物の建築確認や許認可等の業務を行っています。	★★★★	★★★★